

提案者からのメッセージ

桶川市立日出谷小学校
橋場 能成 先生



○ 実践提案のここがお奨め

- ・ 学校全体で取り組むことで、児童の実態をしっかり把握することにつながります。
- ・ 教師に板書と児童のノートをつなぐ意識が高まり、児童にとってわかりやすい授業になります。また、経験の浅い教師の板書の技能及び授業力向上につながります。
- ・ 年度が替わって進級してもノート指導の時間を割かずに、スムーズに授業を実施でき、児童も戸惑いなく学習に臨めます。
- ・ 家庭に向けて学校の考える学力向上のための手立てを示すことで、家庭訪問や個人面談において、効果的な話し合いができます。

○ 実践によって学校がこう変わった

<児童の声>（桶川市立日出谷小学校で実施して）

- ・ 授業の振り返りができるノートを書くことができるようになった。
- ・ 板書に用いる色を3色に絞ったことで、課題とまとめをはっきり確認しやすく、わかりやすい。
- ・ ノートを丁寧に書こうという気持ちが強くなった。

<前任校における教員の声>（桶川市立桶川東小学校で実施して）

- ・ 教師の授業力向上につながった。特に、経験の浅い教師がねらい→活動→指導と評価を一体化できるようになった。
- ・ 筆箱の中身を必要最低限（鉛筆5, 6本、赤・青鉛筆、定規、消しゴム、ネームペン）にして、児童が授業に集中できる学習環境を整備することができた。